

圖る必要がある。出來得るならば全部が中産階級になる
棟心掛けてこそ初めて國政が全う出來上皇室の御恩召を
實現するものだと心得る。最も恐る可きは昭和十五年頃
である。軍縮會議にも政府を懸接し、既成政黨の積弊を
打破し、黨利黨累の政黨に投票せず議會を淨化し國家を明
るくせよ。

○ 皇道會常任幹事 北山亥四三

現在日本に於て一番大きな問題か二つあり、一つは滿洲
を承認して以來英米の追従を許さず、東亞の平和の爲に
軍備を固くする事だ、二つは軍備の外に背後にある農村
生活の窮乏である。

乃木將軍の如く一旦事ある時は劍を持つて立ち、平和の
時には劍を持つこの心情が即ち皇道精神である。國內平

和の爲に政治を變へ、資本主義を改革し統制經濟に依る
明るき國家を建設せねばならぬ。

○祝電

宇佐郡宇佐支部

筑紫郡御笠支部

宇佐郡下高支部

企救郡松ヶ江支部

糸島郡今宿支部

糸島郡日農支部

小倉支部

宗像郡村田芳松

小倉 桐野豐吉

外二通

8、資格審査委員會報告

藤崎常吉

浮羽郡四五〇、久留米市一二三、福岡市六二、

筑紫郡 五六、京都郡 二五、三井郡一三、

早良郡 一一、糸島郡 一一、外 一八、

計 七六九名